※令和４年度以降入学生用

学校番号	3037

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校 公共(第一学習社)						
副教材等	最新公共資料集(第一学習社)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習内容が、自らの生活や生き方につながっていることを意識して学習に取り組むこと。
・授業で学習するテーマのほとんどが、「未だ答えのない課題」となる。単にキーワードを暗記するのではなく、「未だ答えのない課題」について、「自分なりの答え」を導き出すにはどうしたら良いのか、考えながら学習すること。考えたことは、ワークシートに記入し適宜提出の機会を設ける。
・「未だ答えのない課題」は「意見が割れる課題」でもある。自身の答えのみに拘泥せず、他者の意見を認め、合意形成をはかるための力を身につけていくこと。その為にも、授業中は積極的な発言や、クラスメイトとの活発な議論を求める。

２　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目ざす。
・現代の諸課題を捉え考察するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。諸資料から，必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論するための論理的思考力を養う。
・現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、社会をよりよくしようとする態度を涵養する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 資料から，必要となる情報を適切かつ効果的に読み取ることができる。	公共で学習した基本的原理を活用して，現代社会の諸課題の背景や原因、今後起こりうる変化等について、事実を基に多面的・多角的に考察し、判断できる。 客観的な事実と、自身の考えを論理的に表現する基礎的な日本語運用能力を身につけている。	よりよい社会の実現を視野に，社会の担い手として，現代の諸課題の解決について、主体的に考え、行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	公共的空間をつくる私達	Ⅰ　公共的な空間と人間とのかかわり 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主・自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 Ⅱ　社会に参画する自立した主体として 1 伝統や宗教・文化とのかかわり	a：青年期とはどのような時期であるか、その特徴と課題について理解している。 b：伝統や文化と自らの行動様式や価値観との関係について考察している。 c：自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としてのあり方生き方について主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	Ⅰ　人間としてのあり方生き方についての探求 1 人間と社会のあり方についての見方・考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理 Ⅱ　選択・判断の手がかりとなる倫理的価値 1 公共的な空間を形成するための考え方 2 よりよく生きる行為者として活動するために	a：古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解している。 b：環境保護や生命倫理に関する事例をもとに、倫理的価値の判断において，個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，公正などの義務を重視する考え方などを活用し，多面的・多角的に考察，表現している c：公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間としてのあり方生き方について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
	公共的な空間における基本的原理	Ⅰ　自立した主体となることに向けて 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊重 3 民主政治の基本的原理 4 法の支配 5 自由・権利と責任・義務 Ⅱ　よりよい公共的な空間づくりをめざして 1 世界のおもな政治体制 2 日本国憲法に生きる基本的原理	a：人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 ・世界のおもな政治体制について，自己のあり方生き方と民主主義がどのように関係しているか理解している。 b：幸福，正義，公正などに着目して考えている。 公共的な空間における基本的原理について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	法的な主体となる私たち	法や規範の意義と役割 1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由･平等と法･規範 4 法をよりよく変えていく為に	a: 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b: 法をよりよく変えていくために,自由権の意味や,社会権が私たちの生活をどのように変えたのか,新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。 c: 法や規範の意義と役割について,自らの日常生活と関連付けながら意欲的に学習している。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
		契約と消費者の権利･責任 1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任	a: 契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b: 契約と消費者の権利・責任に関する現代の諸課題について､自立した主体として解決に向けた思考･判断ができる。 c: 契約と消費者の権利・責任に関する事柄について,自らの日常生活と関連付けながら意欲的に学習している。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
		司法参加の意義 1 裁判所と人権保障	a: 国民の権利を守り，社会秩序を維持するために，公正な裁判が保障され,法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。 b:司法を巡る諸課題について,その原因や背景について考察し､よりよいかたちを構想したりしたことを,論拠をもって表現している。 c: 司法参加の意義や,国民の権利について自らの日常生活と関連付けながら意欲的に学習している。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
二学期	政治的な主体となる私たち	政治参加と公正な世論の形成 1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉	a: 選挙の意義や課題，世論の形成や政党の役割を理解する。 主権者である国民と国会･内閣の関係を理解する。 b:我が国の統治機構の課題解決に向けて、その原因や背景について多面的・多角的に考察している。 c: 選挙権年齢が 18 歳以上であることを踏まえ,地域や国の課題について，自分自身の問題として理解し，解決しようとする意志を持っている。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
		国際社会と国家主権 1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題	a: 主権国家が並び立つ国際社会は，どのように成り立っているのかを理解する。 国際社会の平和と安定を維持するための国際連合の取り組みを理解する。 b: 国際社会と国家主権について，国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するために，必要な情報を収集し，考察，構想している。 c: 国際社会と国家主権についての諸課題を主体的に解決しようとする意志を持ち学習に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		日本の安全保障と防衛 1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和	a:日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化を理解している b: 日本の安全保障体制や国際社会の今後の変化について、, 幸福, 正義, 公正などに着目して, 多面的・多角的に考察している。 c: 日本国憲法の平和主義の下, 国際社会において私たちが果たすべき責任について主体的に考えている。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
		国際社会の変化と日本の役割 1 今日の国際社会 2 人種・民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	a: 人種・民族問題と地域紛争の背景, 現状を理解している b: 国際社会の安定について, 国民レベル, 国家レベル, 国際レベルで何ができるかを, さまざまな観点から考察している。 c: 国際平和の実現について, 自分自身の問題として理解し, 解決しようとする意志を持ち学習に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
	経済的な主体となる私たち	雇用と労働問題 1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題	a: 雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 企業・家計・政府の三つの経済主体を考え, 経済的な主体となる私たちは, どのように経済活動に参加しているのか, 理解している。 b: 近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について, 具体例をあげて多角的に考察, 構想している。 c: 雇用と労働問題や経済主体の課題について, 意欲的に学習し, 自分の将来のあり方について考えようとしている。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
		社会の変化と職業観 1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから	a: 戦後の日本経済のあゆみについて理解し, 現代の課題について理解している。 企業のはたらきと社会的責任について理解している。 中小企業や農林水産業の課題を理解している。 b: グローバル化・情報化・少子高齢化・経済のソフト化などによる産業構造の変化と、今後の産業構造について考察している。 c: 社会の変化と職業観について, 意欲的に学習し, 自分の将来のあり方について考えようとしている。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
		市場経済の機能と限界 1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉	a: 経済の基本的なしくみと資本主義経済, 社会主義経済の特徴を理解している。 b: 市場経済の機能と限界に関わる現実社会の課題について, その解決策をさまざまな観点から多面的・多角的に考察している。 　経済成長率の変化と、様々な社会事象との因果関係について考察できる。 c:市場経済の機能と限界について、社会をより良くしようとする姿勢をもって意欲的に学習している。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期		金融のはたらき 1 金融の意義や役割	a: 資金の流れ，金融機関の役割，日本銀行の役割について理解している。 b:金融政策が、社会にどのような影響を与えるかについて思考・判断することができる。 c:自分の生き方もふまえ,自分の資産の扱いについてどうすべきかを考えようとしている。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
		財政の役割と社会保障 1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉	a: 財政の役割、社会保障の意義について理解するとともに、諸資料から日本の財政や社会保障の課題について読み取ることができる。 b:財政や社会保障制度に関し,各国の租税負担など財政状況を比較しながら，日本の諸課題を多面的・多角的に考察している。 c: 選挙権年齢が 18 歳以上であることを踏まえ、あるべき財政や社会保障のかたちを考えようとしている。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート
		経済のグローバル化 1 国際分業と国際貿易体制 2 国際収支と為替相場 3 経済のグローバル化と日本 4 地域的経済統合の動き 5 国際社会における貧困や格差 6 地球環境問題 7 資源・エネルギー問題 8 国際社会のこれから	a: 経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:貿易の意義，円高・円安が生じる理由，貿易摩擦などについて，考察，構想し，表現している。 c: 経済のグローバル化と、それによる社会の変化を結び付け、自らのすむ世界の現状と未来について考えている。	定期考査	定期考査	ノート提出 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度